

県内景気動向調査(2022 年 7-9 月実績、10-12 月見通し)

— 県内景気は緩やかに回復している —

株式会社海邦総研(代表取締役社長:新垣学)はこのたび、県内景気動向調査を実施しました。その結果をご報告いたします。

【全体概要】

■ 現状判断

今期(2022 年 7-9 月)の県内企業の景況判断 BSI は 21.6 で「上昇」超。各種イベントが再開したり、観光客が戻り始めたりしたことなどで、県内外の需要が回復していて、広く産業を下支えたことから「**県内景気は緩やかに回復している**」。

来期(10-12 月)の景況見通し BSI は 8.5 で「上昇」超。ただし、足元では円安の進行や仕入れ価格高騰による利益圧迫、感染第 8 波への懸念など、依然として下振れリスクが多い状況が続く。

【業種別概要】

■ 観光関連 [観光は大きく上向くも、人手不足、単価向上など課題が山積]

- 相次ぐ台風襲来や再度の感染拡大があったものの、「行動制限無し」の夏休みで、7-9 月期の旅行・宿泊業の BSI は 73.5 と大きく「上昇」超。人手不足、単価回復が大きな課題となる中、10 月からの全国旅行支援策にも期待が集まる。

■ 建設・不動産関連 [建設は「下降」超、非居住用の落ち込み続く]

- 7-9 月期の BSI は、建設業が-1.5、不動産業等が 14.3 と、両業種の景況感とは分かれた。持ち家やマンションの着工は前年比で増えているものの、アパートの落ち込みが大きい。用途別で見ても、非居住用は前年比、前々年比で大きく落ち込んでいる。資材高騰に伴う利益圧縮を懸念する企業も多い。

■ 卸売・小売、飲食サービス [「上昇」超も 飲食の見通しは大きく下降]

- 7-9 月期 BSI は卸売・小売業が 28.0、飲食サービス業が 33.3 で共に「上昇」超。行動制限が解除されたことによるイベント催行の再開や、観光回復による消費下支えなどで、全体として回復した。ただ、飲食サービスの見通しは大きく下降。

【雇用】

■ 従業員数 [従業員数は人手不足感が強まる]

- 7-9 月期の従業員 BSI は 41.0 で大きく「不足」超となっている。全体として「不足」超で、特に情報通信業、旅行・宿泊業、その他のサービス業、建設業、医療・福祉などで大きく「不足」超となっている。

■ パート・アルバイト [臨時・パートは若干増加]

- 7-9 月期の臨時・パートの BSI は 0.7 で若干「増加」超となっている。その他のサービス業、情報通信業、製造業などで「増加」超となっている。飲食サービス業、医療・福祉などで「減少」超となっている。

《本調査の問い合わせ先》

株式会社 海邦総研 (担当:地域経済調査部 瀬川、当銘)

〒900-0015 那覇市久茂地 2-9-12-4F TEL:098-869-8724

I 県内企業の景況判断 BSI

■ 現状と見通し

- 実績(2022年7-9月期)
 - 全体の景況判断 BSI(実績)は、21.6 で「上昇」超
- 見通し(2022年10-12月期)
 - 全体の景況判断 BSI(見通し)は、8.5 で「上昇」超

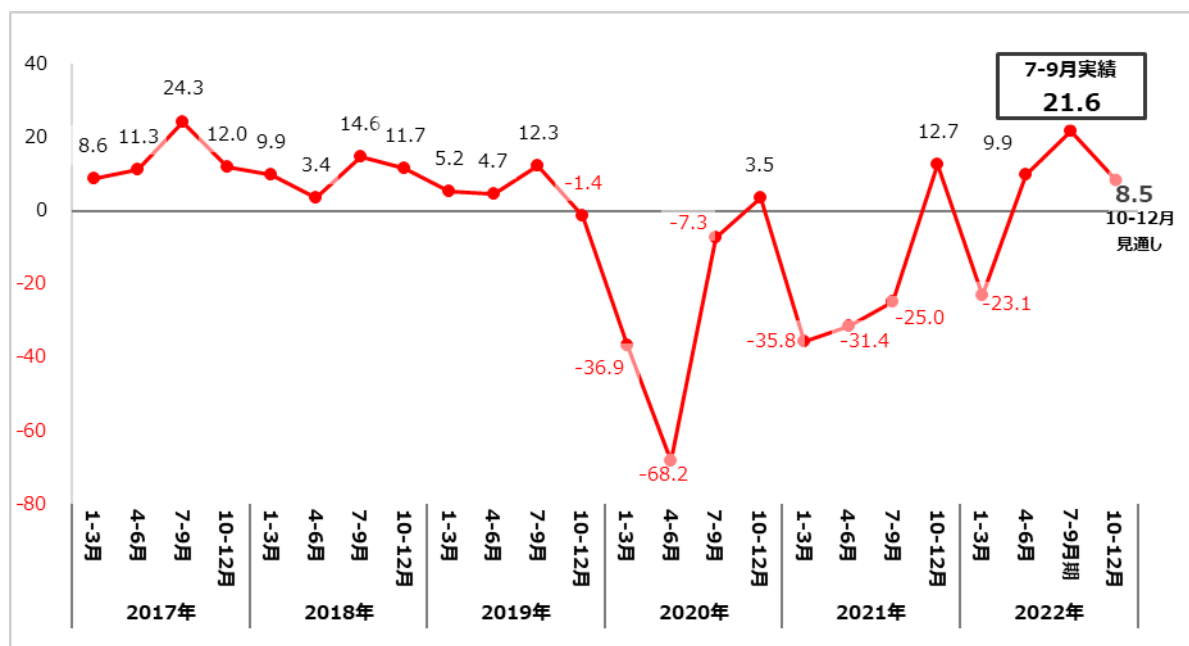
■ 主要業種別結果

- 実績(2022年7-9月期)
 - 「上昇」超は、旅行・宿泊業(73.5)、飲食サービス業(33.3)、その他のサービス業(29.5)、卸売・小売業(28.0)、製造業(20.0)、不動産業等(14.3)、となっている。
 - 「下降」超は、医療・福祉(-9.1)、情報通信業(-5.0)、建設業(-1.5)となっている。
- 見通し(2022年10-12月期)
 - 「上昇」超は、情報通信業(20.0)、その他のサービス業(18.2)、卸売・小売業(12.0)、旅行・宿泊業(8.8)、製造業(6.7)、不動産業等(3.6)、建設業(2.9)
 - 「下降」超は、飲食サービス業(-14.3)、医療・福祉(-4.5)となっている。

■ 企業の景況判断BSI (前期比「上昇」-「下降」社数構成比)

時期		2021年				2022年		
		7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期	7-9月期	10-12月期
		実績	実績	実績	実績	(見通し)	実績	(見通し)
全業種BSI		-25.0	12.7	-23.1	9.9	24.0	21.6	8.5
	建設業	-28.8	-9.6	13.1	-18.1	5.6	-1.5	2.9
	製造業	-22.7	11.8	-36.6	5.3	2.6	20.0	6.7
	情報通信業	-15.8	4.8	0.0	0.0	23.8	-5.0	20.0
	卸売・小売業	-37.0	11.7	-22.4	4.0	40.0	28.0	12.0
	不動産業等	-6.7	-15.6	6.1	17.1	25.7	14.3	3.6
	旅行・宿泊業	-25.0	44.1	-41.7	58.1	54.8	73.5	8.8
	飲食サービス業	-41.2	57.9	-71.4	40.0	33.3	33.3	-14.3
	医療・福祉	-4.8	-4.3	-43.8	-14.3	14.3	-9.1	-4.5
	その他のサービス業	-18.8	26.1	-36.0	20.0	22.1	29.5	18.2
資本金別	1000万円未満	-26.5	19.2	-26.6	19.4	30.6	19.3	0.9
	1000～5000万円未満	-26.7	5.2	-17.5	4.7	15.7	21.7	12.3
	5000万～1億円未満	-18.0	32.0	-33.3	6.3	39.6	27.3	15.9
	1億円以上	-26.7	16.7	-25.0	17.1	28.6	30.0	-5.0
従業員数別	10人未満	-23.7	-1.0	-16.0	14.3	24.1	8.7	-1.9
	10～19人	-28.9	4.7	-26.1	0.0	22.7	34.8	12.1
	20～49人	-22.4	15.7	-25.5	4.7	11.3	23.6	11.1
	50～99人	-33.3	16.1	-26.9	20.4	49.0	11.1	29.6
	100人以上	-15.8	32.7	-29.1	20.3	31.3	30.5	8.5
地域別	本島北部地区	-28.2	0.0	-37.2	-2.6	26.3	5.9	11.8
	本島中部地区	-25.2	12.3	-20.4	5.4	19.2	16.7	8.6
	本島南部地区	-19.0	21.3	-16.4	0.0	25.0	15.9	4.3
	那覇地区	-26.9	17.9	-19.4	19.0	19.0	30.8	15.4
	離島地区	-25.6	0.0	-43.3	38.7	61.3	45.5	-9.1

■ BSI 推移



2 各業界別総評

県内の業界別等の概要は以下の通りである。

観光関連 [観光は大きく上向くも、人手不足、単価向上など課題が山積]

観光関連の今期(7-9月)の景況判断 BSI は 73.5 で、大きく「上昇」超となった。BSI の上昇は、春休み、ゴールデンウィークに引き続き、夏休みも「行動制限無し」で迎えることができたことが要因として大きい。7、8月の入域観光客数はそれぞれ 60 万人を上回り、昨年比で倍以上の増加。行動制限からの反動からか、夏場には珍しい企業のインセンティブ旅行なども増えたようだ。さらに、県外観光客だけでなく、県内の観光消費も大きく伸びたことがアンケート結果から確認できており、全体としてマインド回復が見られる。

ただし、そうした中にありながら、阻害要因も多かった。7-8月は新型コロナウイルスの大規模な感染再拡大が起こっていて、これが懸念材料となって目前から秋場にかけての予約に相当数のキャンセルが入ったようだ。さらに8月には週末の台風襲来も相次いだ。「感染拡大や台風が無ければ、コロナ前並みだった」と惜しむ声がホテル関係者から聞かれている。

受け入れ体制の問題もある。需要回復の中で人手不足の問題が一層顕在化しており、多くの企業から「サービスの質の低下」「売上機会の損失」や「従業員の残業増加や業務過多」が問題になっていることが聞かれている。人手不足の問題は解消の見通しがついておらず、中長期的な沖縄観光の課題となることが考えられる。一方、レンタカー不足の問題に関して、需要の取りこぼしがあったことは聞かれたが、レンタカー不足を見越してバスを運行するなどの取り組みが奏功し、多くの観光客に利用してもらえたようだ。

このほか、原材料等の仕入れ価格の BSI が 76.5 と大幅に上昇している中、依然として単価がコロナ前を下回る状況となっているため、経営改善の視点からも単価向上策が重要な位置づけになるだろう。一部では、円安およびコロナ禍で海外に行けない富裕層が沖縄に流れている状況があり、業績に寄与したという声も聞かれている。現状の円安状況において、日本旅行に割安感を感じている外国客などもターゲットとした施策の展開は有効だろう。

来期(10-12月)の見通しは 8.8 で「上昇」超。海外も含め、全国的にマインド回復の追い風が吹く中、「全国旅行支援」の実施に期待が集まっている。一方、外国客の受け入れ再開は限定的であるためか、海外需要への期待はまだ小さいようだ。

建設・不動産関連 [建設は「下降」超、非居住用の落ち込み続く]

7-9月期のBSIは、建設業が-1.5、不動産業等が14.3と、両業種の景況感は分かれた。住宅建設に関して、持ち家やマンションの着工は前年比で増えているものの、アパートは落ち込んでいる。用途別で見ても、非居住用は前年比、前々年比で大きく落ち込んでいる。資材高騰に伴い、利益圧縮を懸念する企業も多い。比較的小規模の企業の中には資金繰りを優先し、利益捻出が見込めないような金額で落札しているケースもあり、業界全体として利益率低下の傾向にあるようだ。

2022年6-8月の県内の建設業に関連する統計を見ると、建築着工全体の工事予定費は前年比で17%減、前々年比で32%減と減少が続いている。そのうち居住用は前年比で9%増、前々年比で7%増と増加している。一方、非居住用は前年比で38%減、前々年比で55%減と厳しい局面が続いている。

中堅・上位企業はヒアリングに対し「民間工事が再開し始めてきたとは言え、冷え込みは大きく、金額が大きい国の工事を安定して取れているから各社の業績は大きく変わってきている」「コロナ前まで1万6000戸あった住宅建設は今年は9000戸を割る勢いだ。人口動態を見ても、以前のような戸数に回復することはないだろう。業績の二極化が起き、その後は淘汰の時代に入っていく」と景況や今後のトレンドに関して、厳しい見通しを示した。

マンションに関しては、コロナ禍に突入する前の2019年末から落ち込み始めていたが、2022年は着工数が回復し、活況を呈している。20年、21年に計画を止めていた県内デベロッパーが計画を再開させた動きもあるが、それ以上に県外デベロッパーによる、ボリュームの大きいマンション計画を着工も反映されているようだ。県内デベロッパー側からは、今後の好条件の建設予定地の入札に際し、県外デベロッパーとの競争激化を懸念する声が上がった。

建設業の人手不足も年々、深刻さを増していて、技術者不足による入札見送りや工期遅れなどの事態が増えてきていて、「企業の存続に関わる」という声も出始めている。

不動産売買に関しては、那覇市や浦添市、宜野湾市などの住宅地の地価高騰に伴い、西原、八重瀬、南城市など外縁に需要が広がっている。商業地に関しても、コロナ禍の影響が和らいだことで先行きが見通せるようになり、投資意欲が出てきている。賃貸に関しては、アパート建設に対する金融機関の融資厳格化や建築費高騰による利回り低下から着工の鈍化が続き、築古物件にも入居が行き渡り、稼働率は高止まりしている状況だ。

観光回復に伴う民間投資再開への期待から、来期(10-12月)の見通しBSIは建設業2.9、不動産業3.6で、共に上昇超を見込んでいる。

卸売・小売、飲食サービス [全体として「上昇」超 飲食サービスの見通しは大きく下降]

今期(7-9月)の卸売・小売業の景況判断 BSI は 28.0、飲食サービス業の BSI は 33.3 で共に「上昇」超となっている。行動制限が解除されたことによるイベント催行の再開や、観光回復による消費下支えなどで、全体として回復した。

卸売・小売業においては、これまでの食品のみが堅調だった状況から、衣類やお土産のほか、さまざまな催事品の売れ行きにも回復が見られる。また、これまで同様、消毒液やマスク、抗原検査キットなど感染対策関連商品も安定しているようだ。商品の販売価格は、仕入れ値の上昇に伴い、多様な商品において価格転嫁が進んでいる。なお、台風襲来により、8月後半から9月前半にかけて物流の動きに停滞が見られたため、特に食品関連では商品を揃えることができず、売れ行きに影響を与える状況が見られる。

飲食サービス業においても同様に、行動制限解除により県民需要、県外需要が共に伸長した。アンケート結果では、特に県外需要の回復に恩恵を感じた企業が多かった。

仕入れ価格の高騰は引き続き大きな問題になっている。アンケート結果からは、販売価格がそこまで上がっていないことから、価格転嫁が進められない状況にあることが見て取れる。

今後の見通しは、卸売・小売業は 12.0 で「上昇」超、飲食サービス業は -14.3 で「下降」超となっている。観光の繁忙期を終え「協力金」が制度終了した中、「十分に需要が回復していない中、需要が完全回復するまでの資金繰りは非常に厳しい」との声が寄せられている。

雇用 [従業員数は人手不足感が強まる、臨時・パートは若干増加]

【従業員】

7-9月期の従業員 BSI は 41.0 で大きく「不足」超となっている。全体として「不足」超で、特に情報通信業、旅行・宿泊業、その他のサービス業、建設業、医療福祉などで大きく「不足」超となっている。

10-12月期の従業員の見通し BSI は 40.5 で大きく「不足」超となっている。全体として「不足」超となっている中、特に情報通信業、建設業、その他のサービス業、旅行・宿泊業、医療福祉などで大きく「不足」超となっている。

【臨時・パート】

7-9月期の臨時・パートの BSI は 0.7 で若干「増加」超となっている。その他のサービス業、情報通信業、製造業などで「増加」超となっている。飲食サービス業、医療・福祉などで「減少」超となっている。

10-12月期の臨時・パートの見通し BSI は 3.0 で「増加」超となっている。飲食サービス業、卸売・小売業、その他のサービス業などで「増加」超となっている。不動産業で「減少」超となっている。

3 調査概要および調査対象について

調査の対象、調査方法、回収率等は以下のとおり。

調査概要

項 目	内 容
調査対象	県内に本社所在地がある 2000 企業に発送した。 ただし調査対象有効企業数は、宛先不明として返送されてきた 17 企業を除いた 1983 企業。
抽出方法	信用調査会社などから提供を受けた。その際、業種、地域については、経済センサス調査基礎調査結果と偏りが少なくなるよう考慮して抽出した。そのほか、各種公開情報等を参考にして発送先を選定した。
調査方法	郵送により調査票を配布・回収 ※一部インターネットによる回答・回収
調査期間	2022 年 9 月 1 日に調査票を発送し、9 月 28 日到着分までを集計
回収状況	有効回収数:402 通（有効回答率:20.3%）

弊社が取りまとめた、県内企業の各種 BSI (Business Survey Index) の算出方法は、以下のとおりである。

$$BSI = (\text{「上昇」と回答した企業構成比}) - (\text{「下降」と回答した企業構成比})$$

なお、BSI は景気の現状や先行きを「上昇」・「下降」といった前期と変化した方向で判断する指標である。BSI がプラスであれば、企業の景況や各種項目が前期と比較して好調であるということであり、BSI がマイナスであれば、景況や各種項目が前期と比較して不調と考えられる。

また、本調査は、比較的、小規模事業所までも網羅した調査となっている点が特徴である。

- ※ 本文中における、カッコ内（ ）の数値は単位が特に記載されていない場合は、その業種、分野の BSI を示す。
- ※ 調査結果について、回答した割合を小数第二位で四捨五入しているため、各項目の合計が 100%にならない場合がある。
- ※ 複数回答の場合は、構成比（パーセント計算）の和が 100.0 を超えるものがある。
- ※ 統計表において n はサンプル数を表す。

4 調査結果詳細

回答企業属性

回答企業総数は402社。構成比は以下の通りとなっている。

■ 業種別

項目	回答数 (n=402)	構成比 (%)
農業、林業、漁業	1	0.2
建設業	68	16.9
製造業	45	11.2
情報通信業	20	5.0
卸売・小売業	75	18.7
不動産業	28	7.0
旅行・宿泊業	34	8.5
飲食サービス業	21	5.2
医療、福祉	22	5.5
その他のサービス業	88	21.9
その他	0	0.0
無回答	0	0.0

■ 資本金別

項目	回答数 (n=402)	構成比 (%)
1000万円未満	109	27.1
1000～5000万円未満	203	50.5
5000～1億円未満	44	10.9
1億円以上	20	5.0
無回答	26	6.5

■ 従業員数別

項目	回答数 (n=402)	構成比 (%)
10人未満	103	25.6
10～19人	66	16.4
20～49人	144	35.8
50～99人	27	6.7
100人以上	59	14.7
無回答	3	0.7

■ 地域別

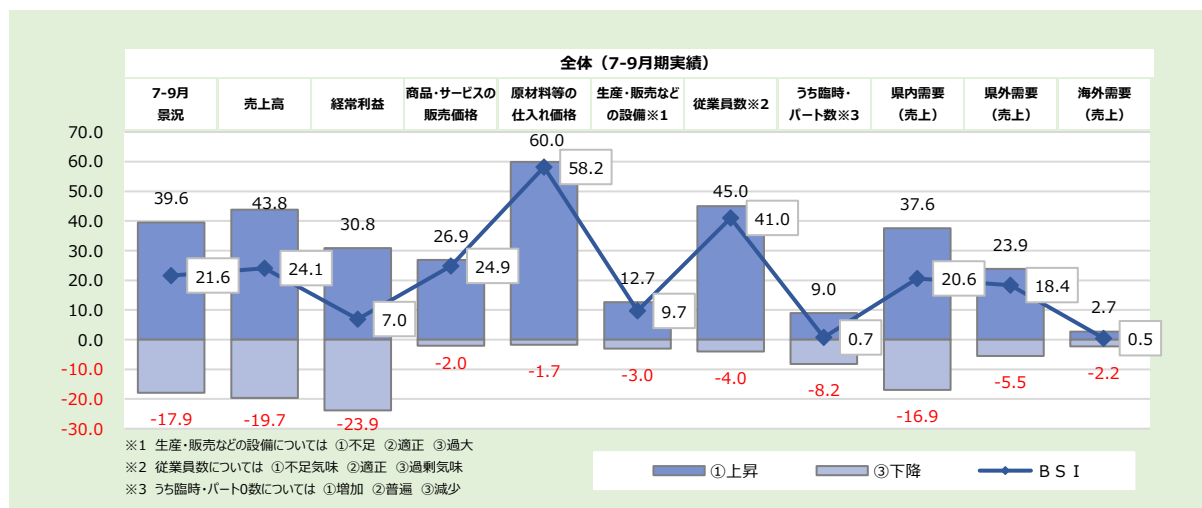
項目	回答数 (n=402)	構成比 (%)
北部	34	8.5
中部	162	40.3
南部	69	17.2
那覇	104	25.9
離島	33	8.2
無回答	0	0.0

■ 売上先マーケット別

項目	回答数 (n=402)	構成比 (%)
県内売上50%以上	326	81.1
県外売上50%以上	68	16.9
海外売上20%以上	4	1.0

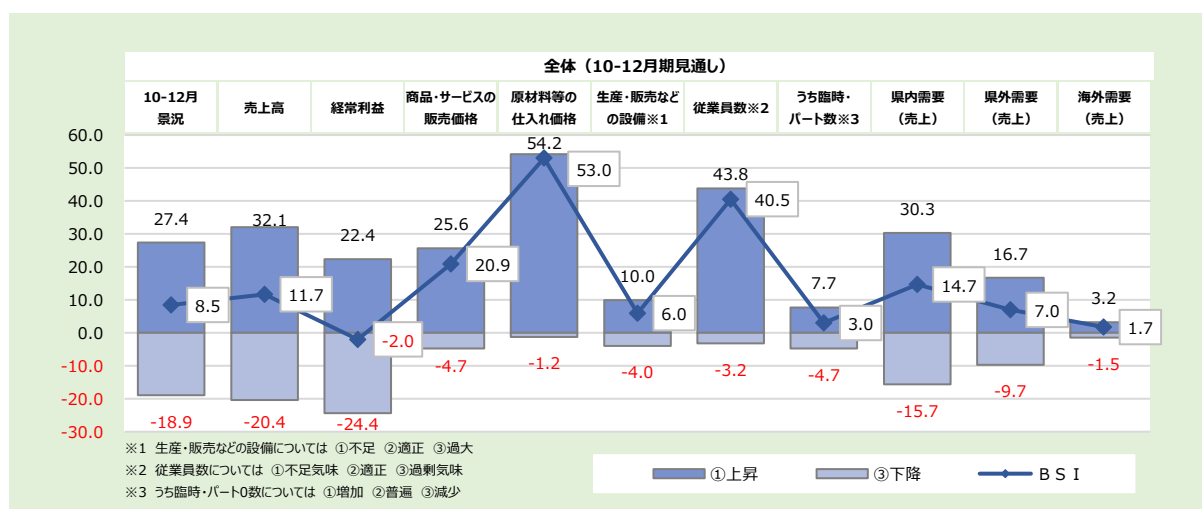
■ 7-9月期の現状(4-6月比較) BSI 全体 実績

- 7-9月期の景況BSIは21.6で「上昇」超。売上高、経常利益共に「上昇」超となっている。
- 販売価格は「上昇」超。仕入れ価格は大きく「上昇」超となっている。
- 設備は「不足」超、従業員数は大きく「不足」超。臨時・パート数は若干「増加」超となっている。
- 県内需要、県外需要は共に「上昇」超。海外需要も若干「上昇」超となっている。



■ 10-12月期の見通し(7-9月比較) BSI 全体 見通し

- 10-12月期の景況見通しは8.5で「上昇」超。売上高は「上昇」超、経常利益共は若干「下降」超となっている。
- 販売価格は「上昇」超。仕入れ価格は大きく「上昇」超となっている。
- 設備は「不足」超、従業員数は大きく「不足」超。臨時・パート数は若干「増加」超となっている。
- 県内需要、県外需要は共に「上昇」超。海外需要も若干「上昇」超となっている。



■ 7-9 月期の景況判断要因(4-6 月期との比較) 全体 景況判断要因

- 7-9 月期の景況について「上昇」とした 159 社における景況上昇の要因は、「県内需要の動向」(72.3%) が最も多く、次いで「県外需要の動向」(46.5%) が続いた。

7-9 月期景況の上昇要因

項目	回答数 (n=159)	構成比 (%)
県内需要(売上)の動向	115	72.3
県外需要(売上)の動向	74	46.5
海外需要(売上)の動向	5	3.1
販売価格の動向	24	15.1
仕入れ価格の動向	22	13.8
仕入れ以外のコストの動向	8	5.0
資金繰り・資金調達の動向	4	2.5
株式・不動産等の資産価格の動向	0	0.0
為替レートの動向	4	2.5
その他	6	3.8
無回答	1	0.6

- 「下降」とした 72 社における景況下降の要因は、「県内需要の動向」(77.2%) が最も多く、「仕入れ価格の動向」(37.5%)、「仕入れ以外のコストの動向」(22.2%) が続いた。

7-9 月期景況の下降要因

項目	回答数 (n=72)	構成比 (%)
県内需要(売上)の動向	52	72.2
県外需要(売上)の動向	13	18.1
海外需要(売上)の動向	3	4.2
販売価格の動向	8	11.1
仕入れ価格の動向	27	37.5
仕入れ以外のコストの動向	16	22.2
資金繰り・資金調達の動向	13	18.1
株式・不動産等の資産価格の動向	0	0.0
為替レートの動向	5	6.9
その他	5	6.9
無回答	2	2.8

■ 10-12月期の景況見通し判断要因(7-9月期との比較) 全体 景況見通し判断要因

- 10-12月期の見通しを「上昇」とした110社における上昇要因は、「県内需要の動向」(81.8%)が最も多く、次いで「県外需要の動向」(58.3%)、「仕入れ価格の動向」(26.4%)、「販売価格の動向」(20.8%)が続いた。

10-12月期景況の見通し:上昇要因

項目	回答数 (n=110)	構成比 (%)
県内需要(売上)の動向	90	81.8
県外需要(売上)の動向	42	58.3
海外需要(売上)の動向	9	12.5
販売価格の動向	15	20.8
仕入れ価格の動向	19	26.4
仕入れ以外のコストの動向	6	8.3
資金繰り・資金調達の動向	3	4.2
株式・不動産等の資産価格の動向	0	0.0
為替レートの動向	2	2.8
その他	5	6.9
無回答	0	0.0

- 「下降」とした76社における下降要因は、「県内需要の動向」が61.8%で最も多く、次いで「仕入れ価格の動向」(47.4%)、「県外需要の動向」(40.8%)、「仕入れ以外のコストの動向」(27.6%)が続いた。

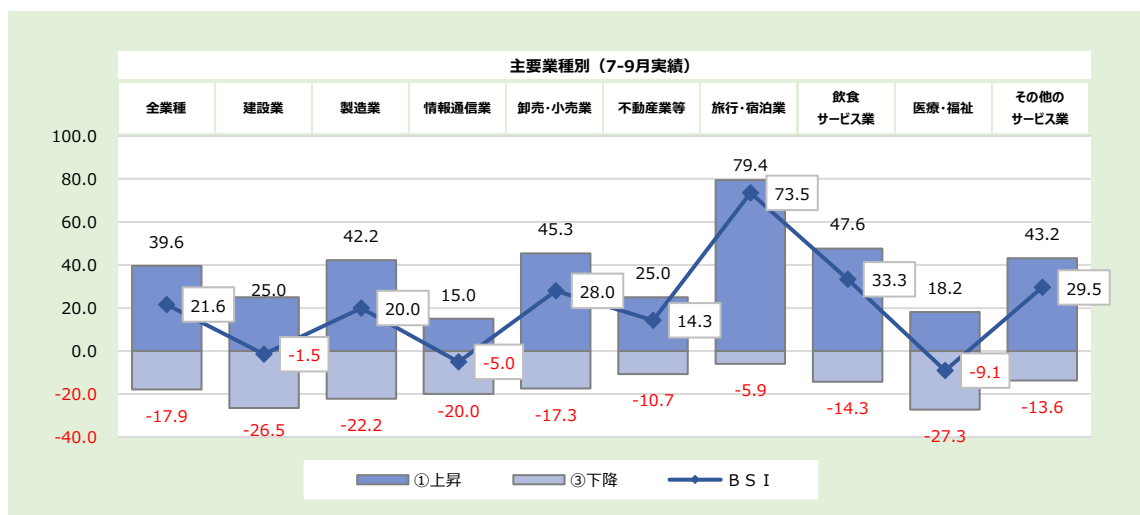
10-12月期景況の見通し:下降要因

項目	回答数 (n=76)	構成比 (%)
県内需要(売上)の動向	47	61.8
県外需要(売上)の動向	31	40.8
海外需要(売上)の動向	2	2.6
販売価格の動向	15	19.7
仕入れ価格の動向	36	47.4
仕入れ以外のコストの動向	21	27.6
資金繰り・資金調達の動向	6	7.9
株式・不動産等の資産価格の動向	0	0.0
為替レートの動向	3	3.9
その他	6	7.9
無回答	0	0.0

【主要業種別 BSI】

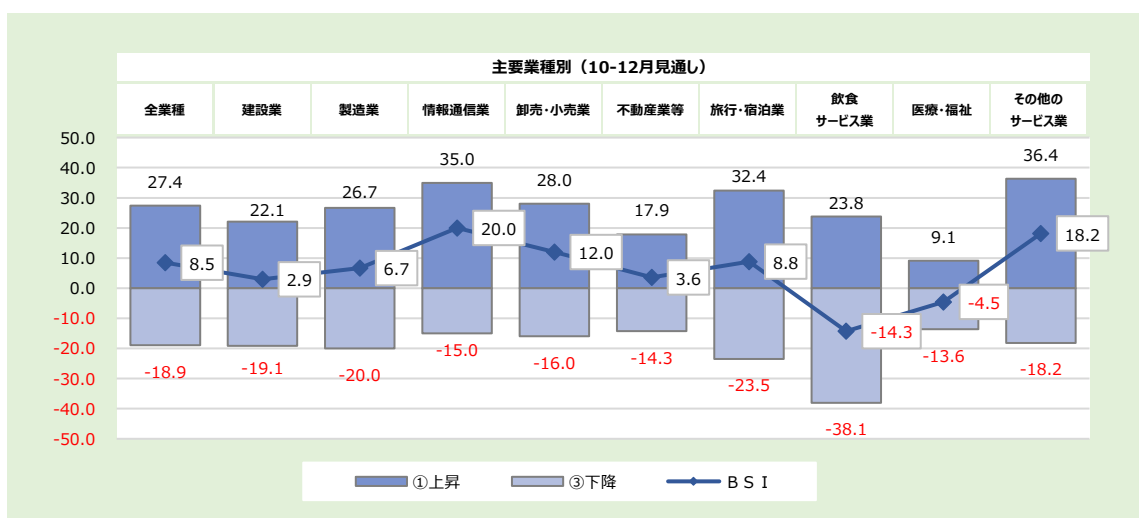
■ 7-9 月期の現状(4-6 月比較) 主要業種別 実績

- 全体では、21.6 で「上昇」超となっている。
- 「上昇」超は、旅行・宿泊業(73.5)、飲食サービス業(33.3)、その他のサービス業(29.5)、卸売・小売業(28.0)、製造業(20.0)、不動産業等(14.3)、となっている。
- 「下降」超は、医療・福祉(-9.1)、情報通信業(-5.0)、建設業(-1.5)となっている。



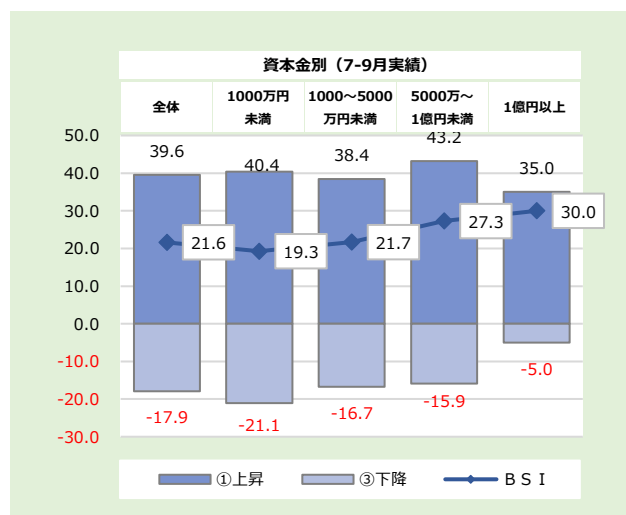
■ 10-12 月期の見通し(7-9 月比較) 主要業種別 見通し

- 全体では 8.5 で「上昇」超となっている。
- 「上昇」超は、情報通信業(20.0)、その他のサービス業(18.2)、卸売・小売業(12.0)、旅行・宿泊業(8.8)、製造業(6.7)、不動産業等(3.6)、建設業(2.9)となっている。
- 「下降」超は、飲食サービス業(-14.3)、医療・福祉(-4.5)となっている。



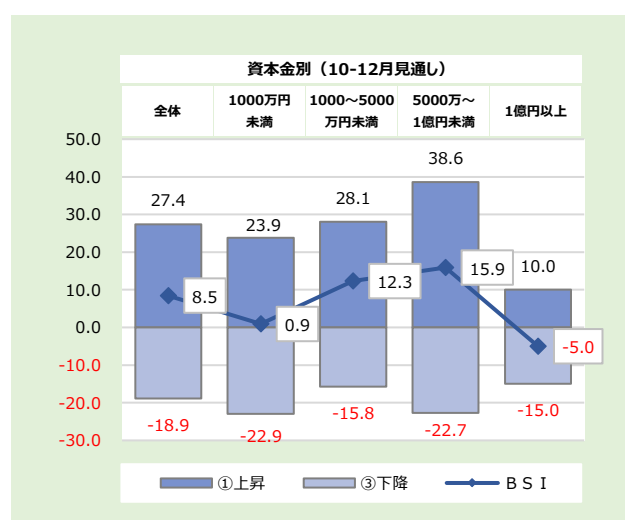
■ 7-9月期の現状(4-6月比較) **資本金別** **実績**

- 7-9月期の景況は、資本金規模に関わらず、全体として「上昇」超となっている。



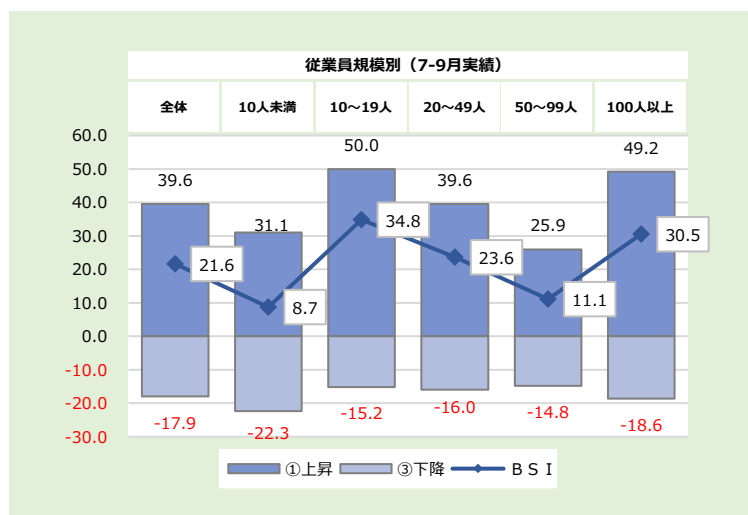
■ 10-12月期の見通し(7-9月比較) **資本金別** **見通し**

- 10-12月期の見通しは、資本金 1000 万円～1 億円未満においては「上昇」超。
1000 万円未満においては、若干の「上昇」超。
➤ 資本金 1 億円以上のみ「下降」超となっている。



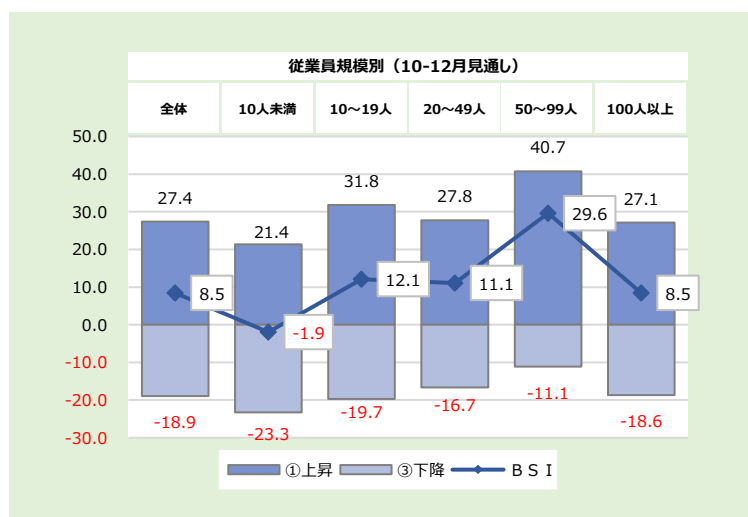
■ 7-9 月期の現状(4-6 月比較) 従業員数別 実績

- 7-9 月期の景況は、従業員規模に関わらず全体として「上昇」超となっている。



■ 10-12 月期の見通し(7-9 月比較) 従業員数別 見通し

- 10-12 月期の見通しは、全体では「上昇」超となっている。
- 従業員数 10 人未満においては、「下降」超となっている。



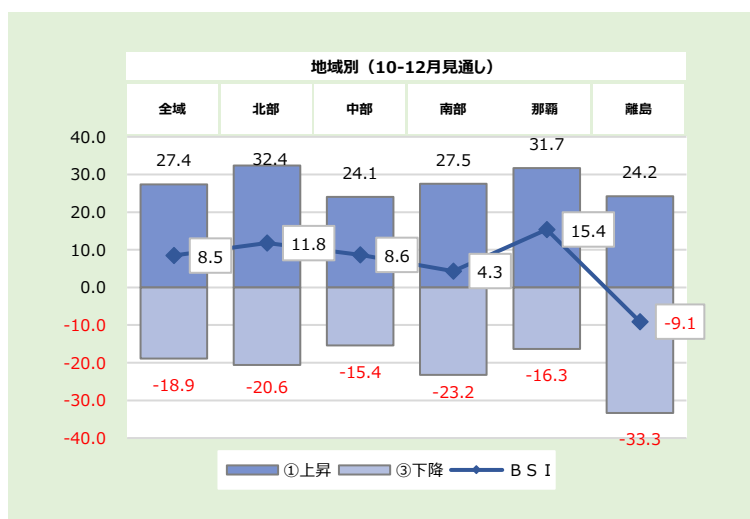
■ 7-9月期の現状(4-6月比較) **地域別** **実績**

- 7-9月期の景況は、全ての地域で「上昇」超となっている。
- 特に離島において上昇幅が大きくなっている。



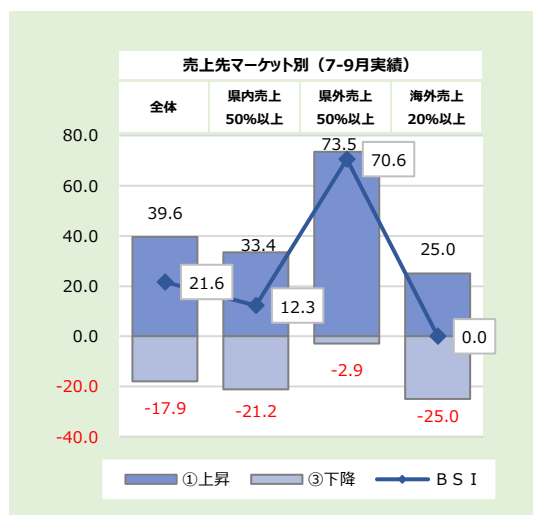
■ 10-12月期の見通し(7-9月比較) **地域別** **見通し**

- 10-12月期の景況見通しは、離島のみ「下降」超となっている。



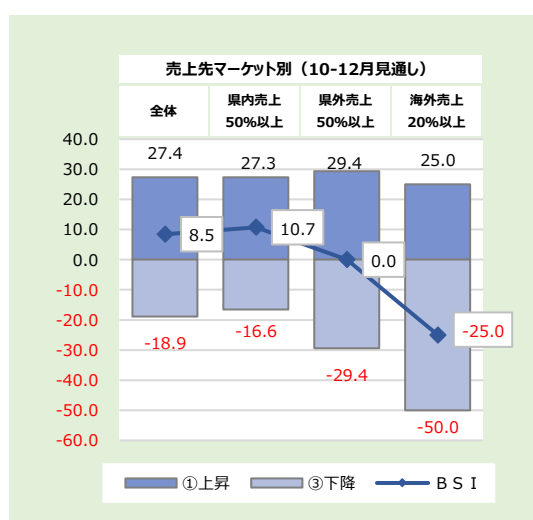
■ 7-9月期の現状(4-6月比較) 売上先マーケット別 実績

- 7-9月期の景況は、「県外売上 50%以上」において特に大きく「上昇」超となっている。



■ 10-12月期の見通し(7-9月比較) 売上先マーケット別 見通し

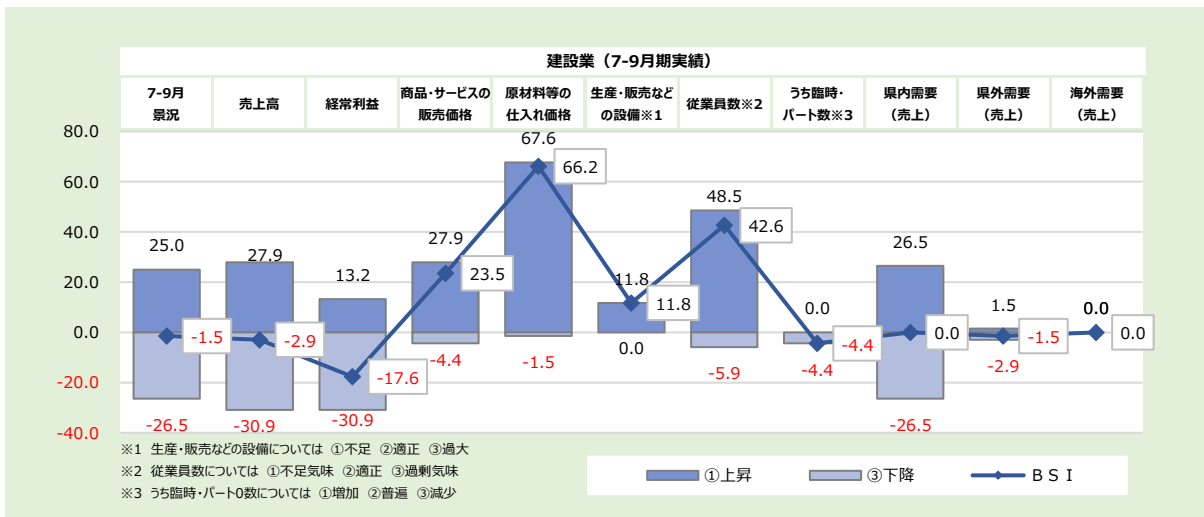
- 10-12月期の景況見通しは、「県内売上50%以上」のみ「上昇」超。「県外売上 50%以上」は0.0、「海外売上 20%以上」は「下降」超となっている。



【主要業種別集計】

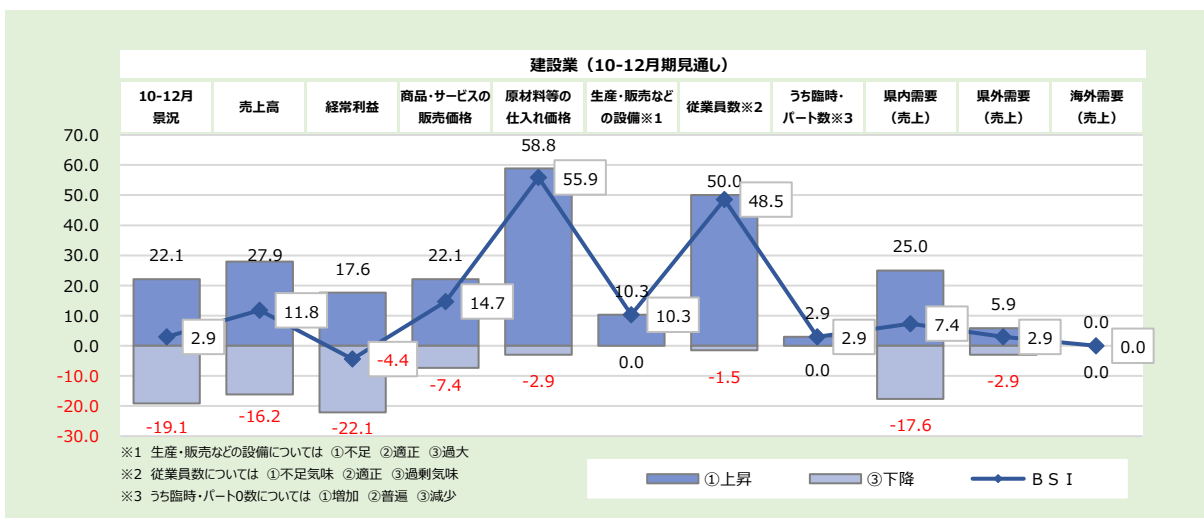
■ 7-9月期の現状(4-6月比較) **建設業** **実績**

- 7-9月期の景況は-1.5で「下降」超。売上高、経常利益共に「下降」超となっている。
- 販売価格は「上昇」超。仕入れ価格は大きく「上昇」超となっている。
- 設備は「不足」超、従業員数は大きく「不足」超。臨時・パート数は「減少」超となっている。
- 県内需要、海外需要は0.0。県外需要は「下降」超となっている。



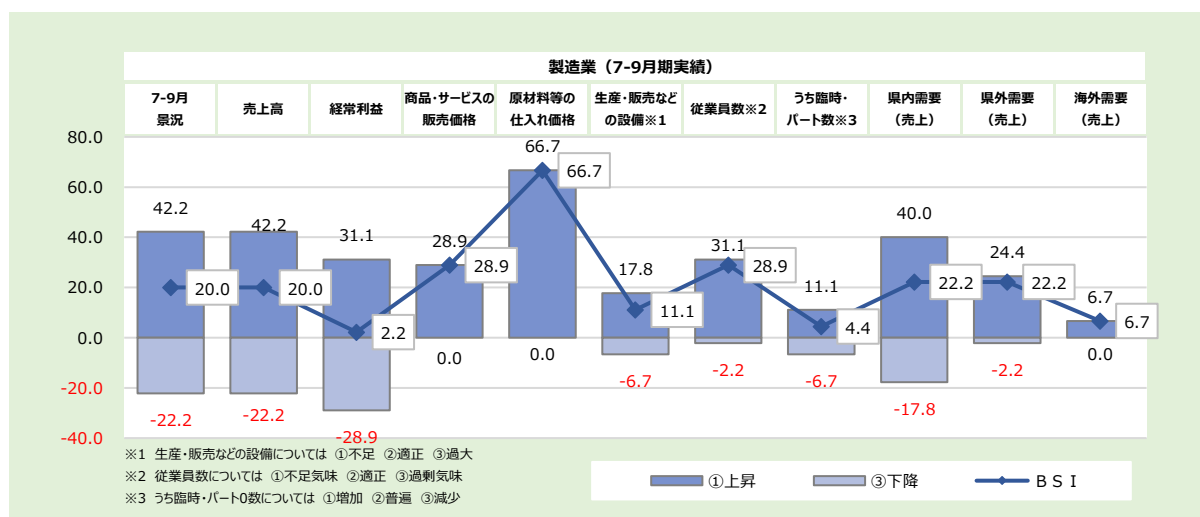
■ 10-12月期の見通し(7-9月比較) **建設業** **見通し**

- 10-12月期の景況見通しは2.9で「上昇」超。売上高は「上昇」超、経常利益は「下降」超となっている。
- 販売価格は「上昇」超。仕入れ価格は大きく「上昇」超となっている。
- 設備は「不足」超、従業員数は大きく「不足」超。臨時・パート数は若干「増加」超となっている。
- 県内需要、県外需要共に「上昇」超、海外需要は0.0となっている。



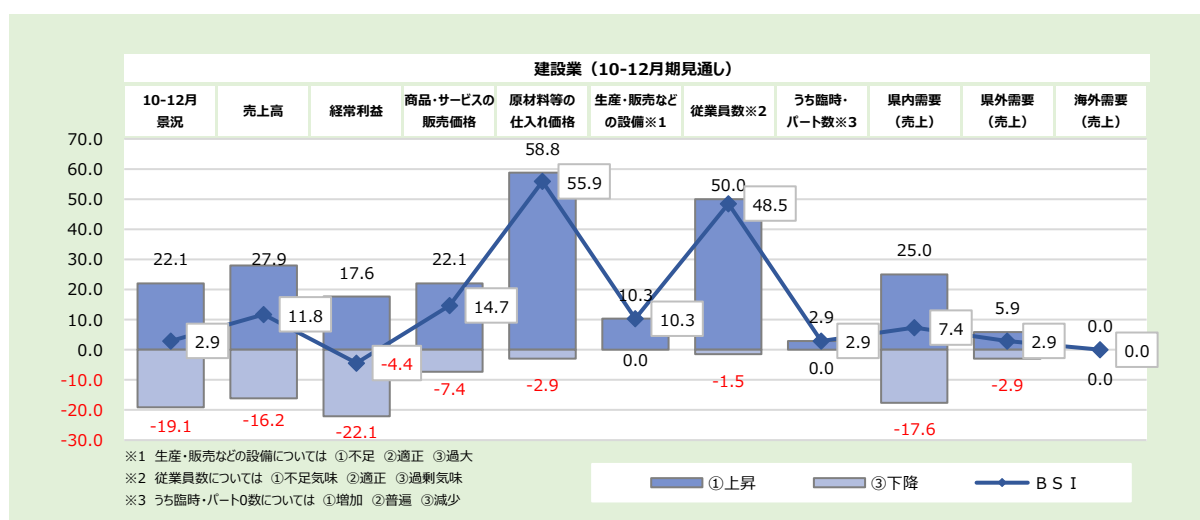
■ 7-9月期の現状(4-6月比較) 製造業 実績

- 7-9月期の景況は20.0で「上昇」超。売上高は「上昇」超、経常利益は若干の「上昇」超となっている。
- 販売価格は「上昇」超。仕入れ価格は大きく「上昇」超となっている。
- 設備、従業員数共に「不足」超。臨時・パート数は「増加」超となっている。
- 県内需要、県外需要、海外需要共に「上昇」超となっている。



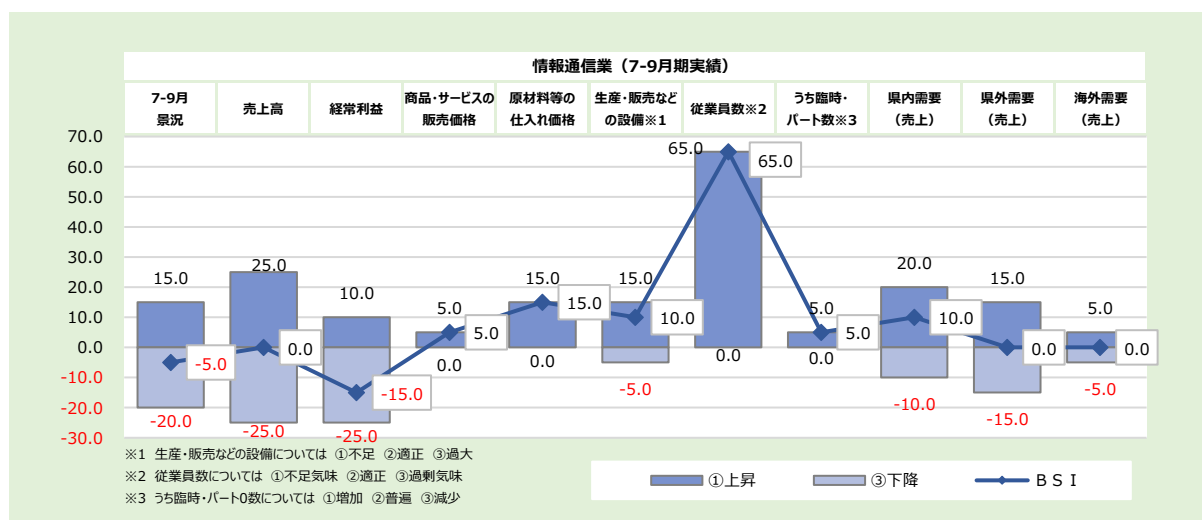
■ 10-12月期の見通し(7-9月比較) 製造業 見通し

- 10-12月期の景況見通しは2.9で若干の「上昇」超。売上高は「上昇」超、経常利益は「下降」超となっている。
- 販売価格は「上昇」超。仕入れ価格は大きく「上昇」超となっている。
- 設備は「不足」超、従業員数は大きく「不足」超。臨時・パート数は「増加」超となっている。
- 県内需要、県外需要は共に「上昇」超。海外需要は0.0となっている。



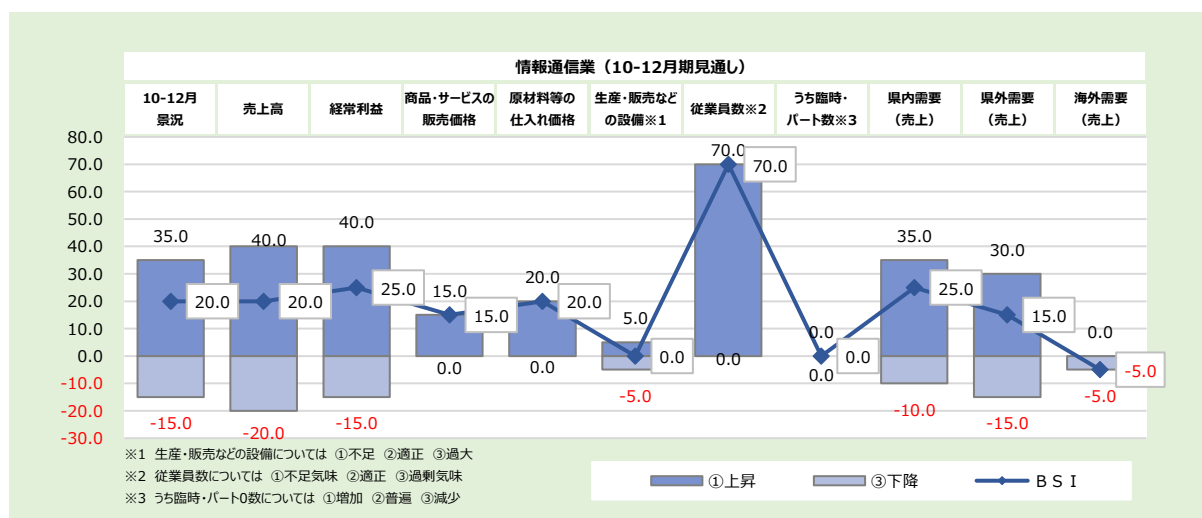
■ 7-9月期の現状(4-6月比較) 情報通信業 実績

- 7-9月期の景況は-5.0で「下降」超。売上高は0.0、経常利益は「下降」超となっている。
- 販売価格、仕入れ価格は共に「上昇」超となっている。
- 設備は「不足」超、従業員数は大きく「不足」超。臨時・パート数は「増加」超となっている。
- 県内需要は「上昇」超。県外需要、海外需要は共に0.0となっている。



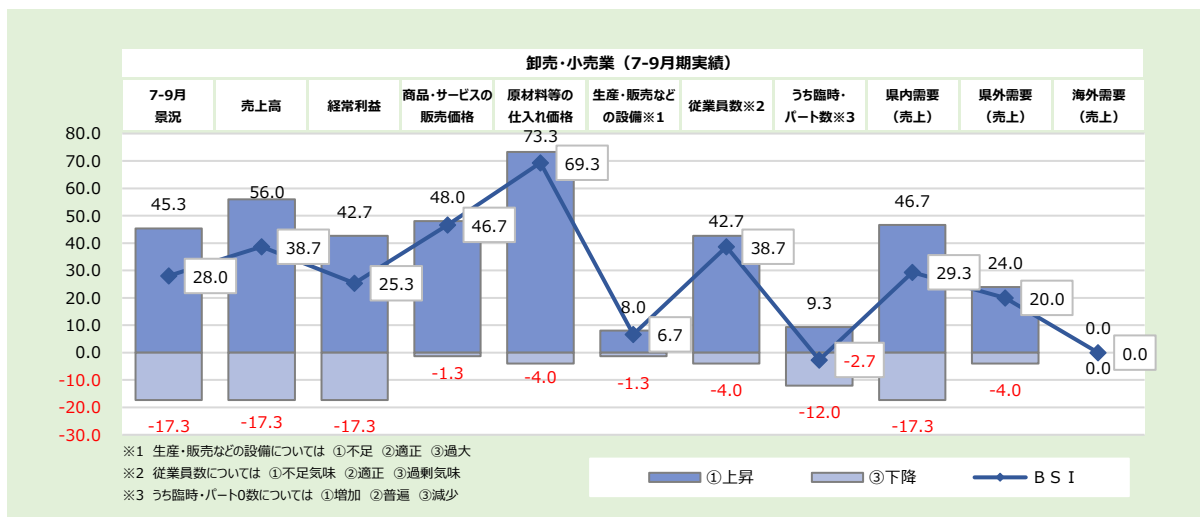
■ 10-12月期の見通し(7-9月比較) 情報通信業 見通し

- 10-12月期の景況見通しは20.0で「上昇」超。売上高、経常利益共に「上昇」超となっている。
- 販売価格、仕入れ価格は共に「上昇」超となっている。
- 設備は0.0。従業員数は大きく「不足」超。臨時・パート数は0.0となっている。
- 県内需要、県外需要は共に「上昇」超。海外需要「下降」超となっている。



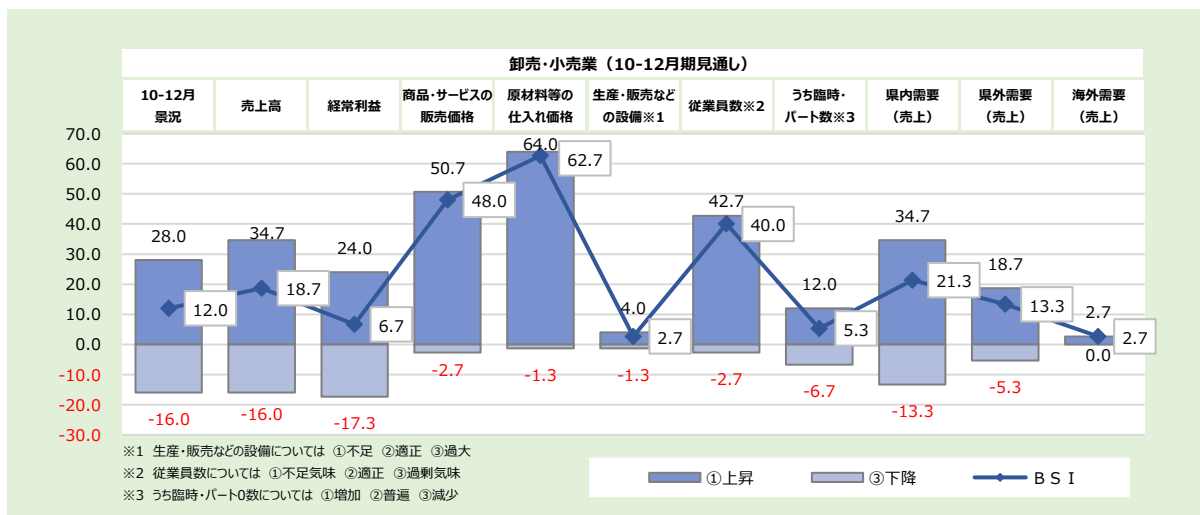
■ 7-9月期の現状(4-6月比較) 卸売・小売業 実績

- 7-9月期の景況は28.0で「上昇」超。売上高、経常利益も共に「上昇」超となっている。
- 販売価格、仕入れ価格共に大きく「上昇」超となっている。
- 設備は「不足」超、従業員数は大きく「不足」超。臨時・パート数は若干「減少」超となっている。
- 県内需要、県外需要は共に「上昇」超。海外需要は0.0となっている。



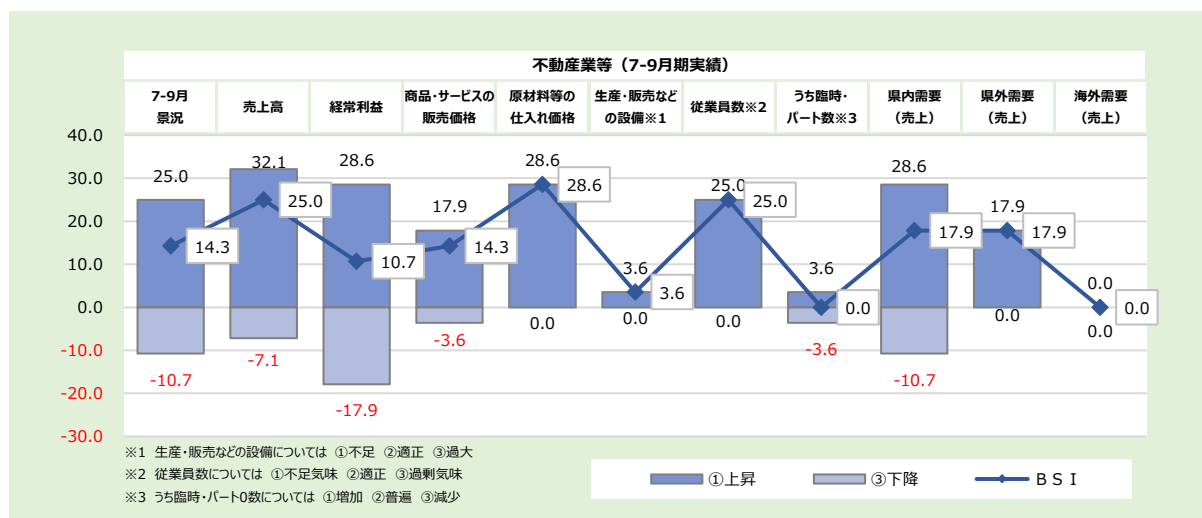
■ 10-12月期の見通し(7-9月比較) 卸売・小売業 見通し

- 10-12月期の景況見通しは12.0で「上昇」超。売上高、経常利益共に「上昇」超となっている。
- 販売価格、仕入れ価格共に大きく「上昇」超となっている。
- 設備は若干「不足」超、従業員数は大きく「不足」超。臨時・パート数は「増加」超となっている。
- 県内需要、県外需要は共に「上昇」超。海外需要は若干「上昇」超となっている。



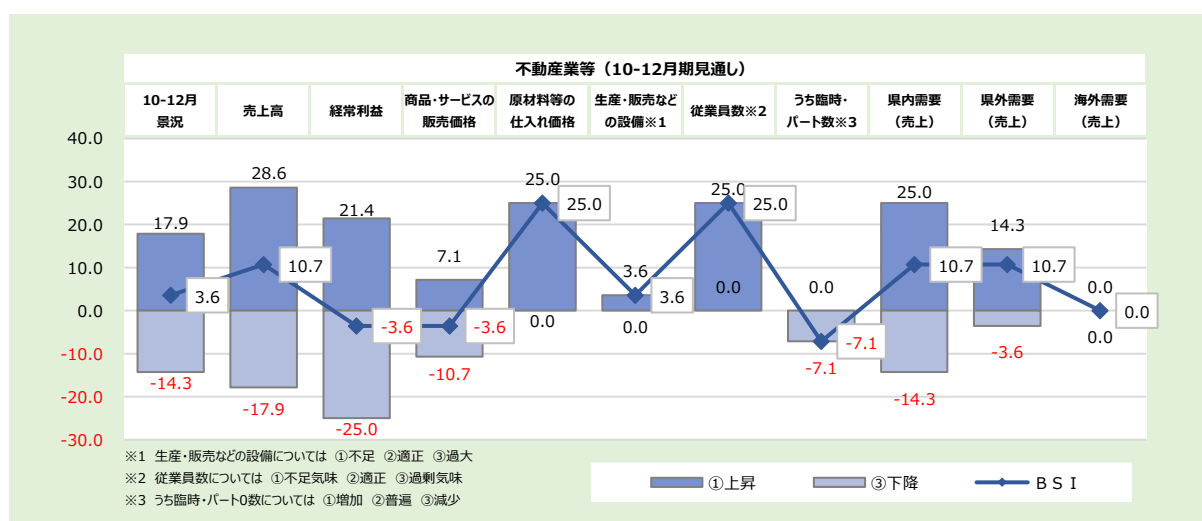
■ 7-9月期の現状(4-6月比較) 不動産業等 実績

- 7-9月期の景況は14.3で「上昇」超。売上高、経常利益共に「上昇」超となっている。
- 販売価格、仕入れ価格は共に「上昇」超となっている。
- 設備、従業員数は共に「不足」超、臨時・パート数は0.0となっている。
- 県内需要、県外需要は「上昇」超、海外需要は0.0となっている。



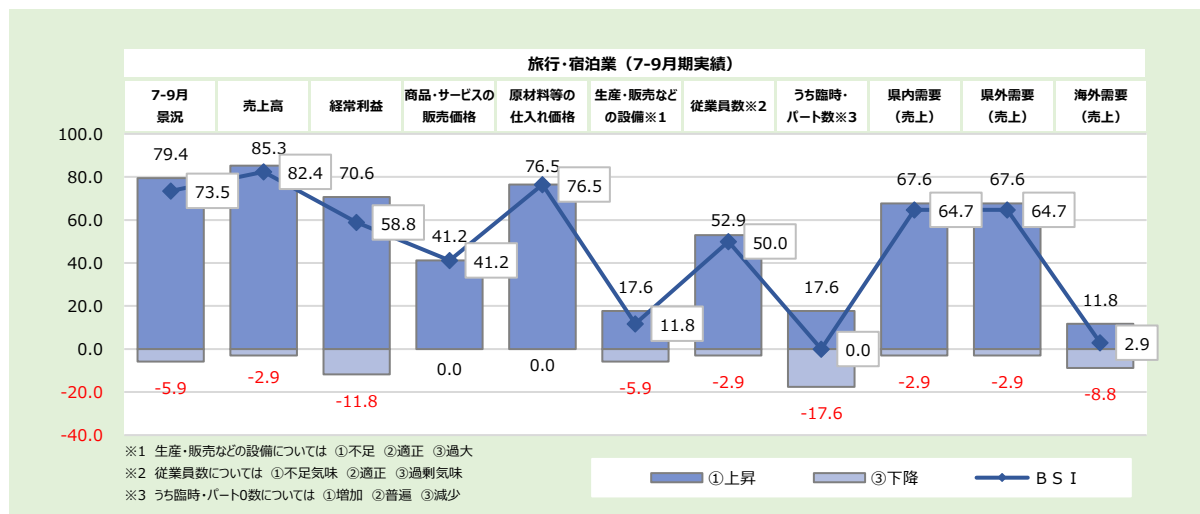
■ 10-12月期の見通し(7-9月比較) 不動産業等 見通し

- 10-12月期の景況見通しは3.6で「上昇」超。売上高は「上昇」超だが、経常利益は「下降」超となっている。
- 販売価格は「下降」超、仕入れ値は「上昇」超となっている。
- 設備、従業員数は「不足」超、臨時・パート数は「減少」超となっている。
- 県内需要、県外需要は共に「上昇」超。海外需要は0.0となっている。



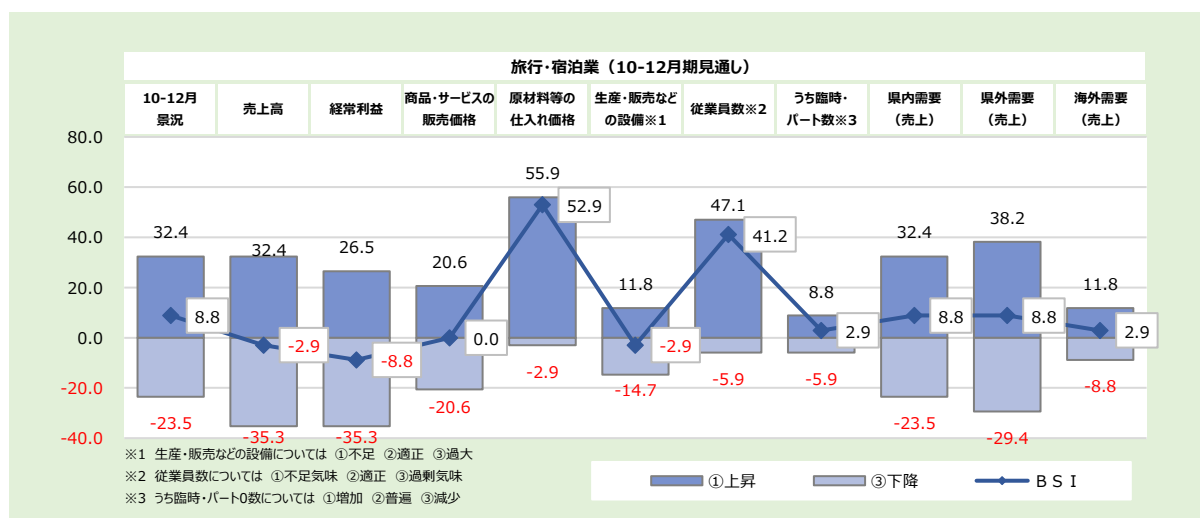
■ 7-9月期の現状(4-6月比較) 旅行・宿泊業 実績

- 7-9月期の景況は73.5で大きく「上昇」超。売上高、経常利益共に大きく「上昇」超となっている。
- 販売価格は「上昇」超。仕入れ価格は大きく「上昇」超となっている。
- 設備は「不足」超、従業員数は大きく「不足」超、臨時・パート数は0.0となっている。
- 県内需要、県外需要は大きく「上昇」超、海外需要は若干「上昇」超となっている。



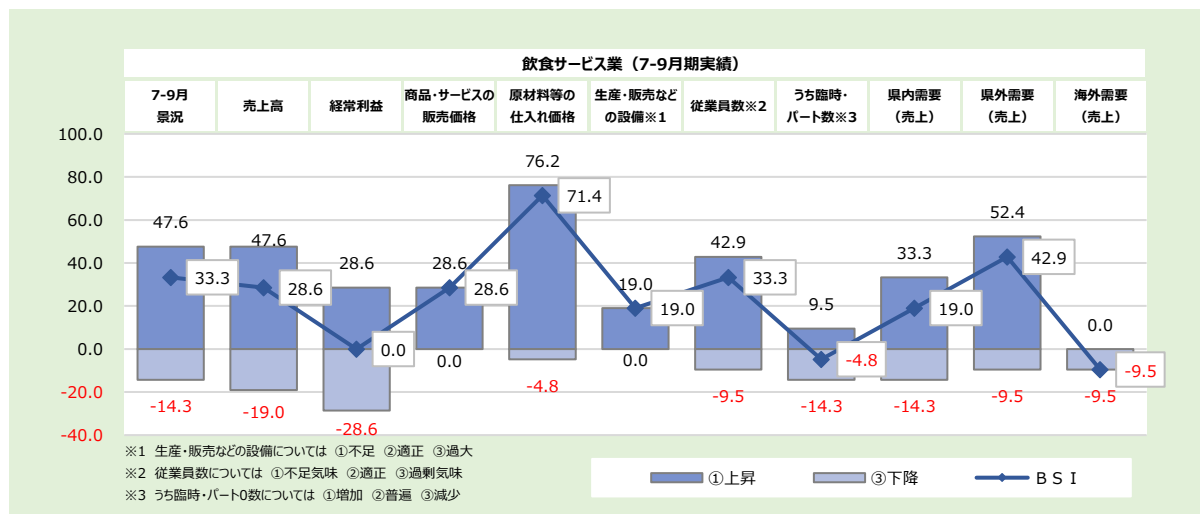
■ 10-12月期の見通し(7-9月比較) 旅行・宿泊業 見通し

- 10-12月期の景況見通しは8.8で「上昇」超。売上高、経常利益は共に「下降」超となっている。
- 販売価格は0.0、仕入れ価格は大きく「上昇」超となっている。
- 設備は若干の「過大」超、従業員数は大きく「不足」超、臨時・パート数は若干「増加」超となっている。
- 県内需要、県外需要は「上昇」超、海外需要は若干「上昇」超となっている。



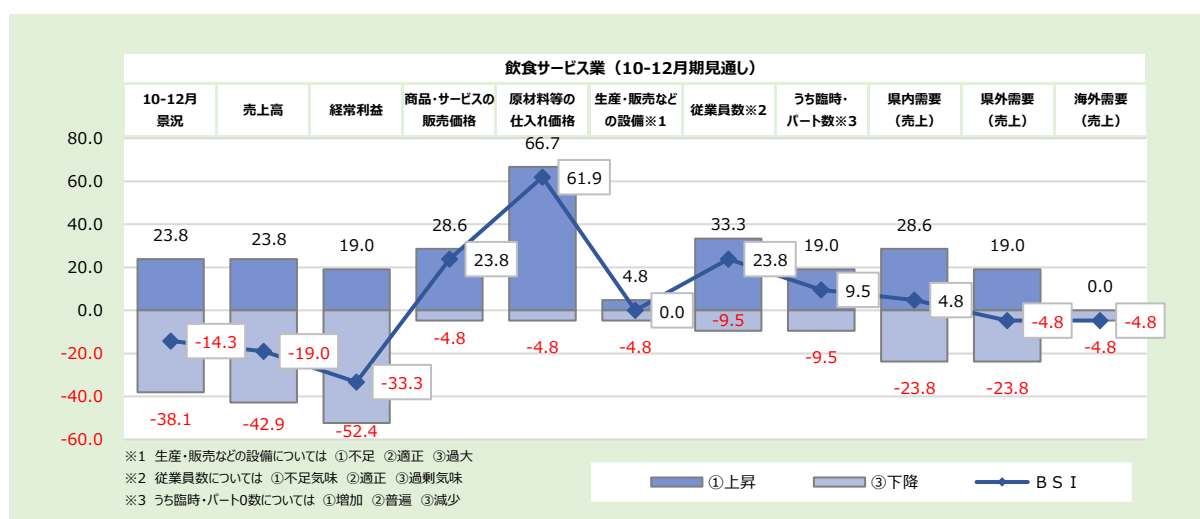
■ 7-9月期の現状(4-6月比較) 飲食サービス業 実績

- 7-9月期の景況は33.3で「上昇」超。売上高は「上昇」超だが、経常利益は0.0となっている。
- 販売価格は「上昇」超。仕入れ価格は大きく「上昇」超となっている。
- 設備、従業員数共に「不足」超。臨時・パート数は「減少」超となっている。
- 県内需要、県外需要は「上昇」超。海外需要は「減少」超となっている。



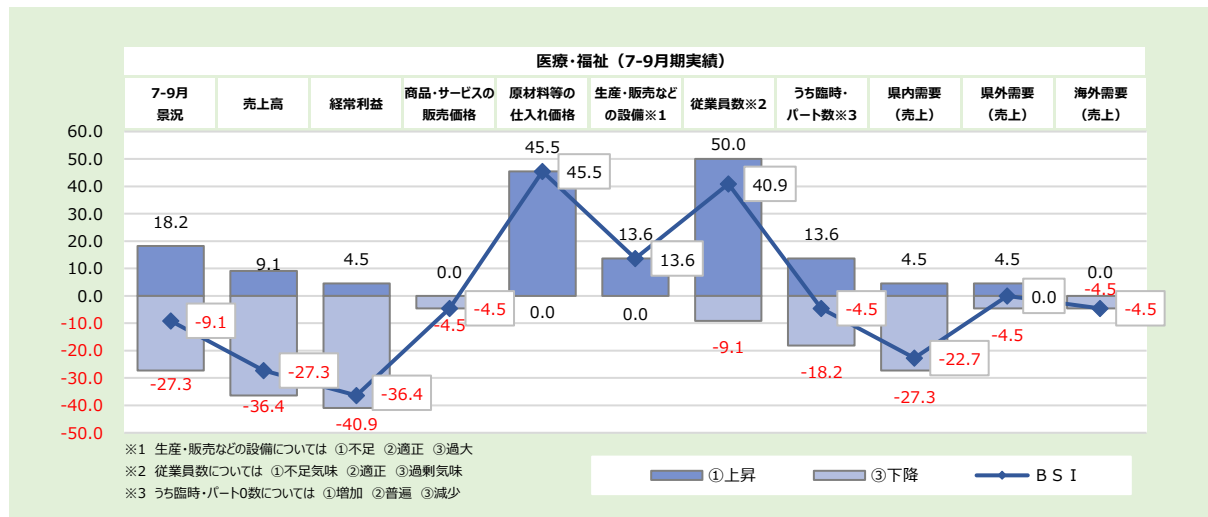
■ 10-12月期の見通し(7-9月比較) 飲食サービス業 見通し

- 10-12月期の景況見通しは-14.3「下降」超。売上高、経常利益共に「下降」超となっている。
- 販売価格は「上昇」超。仕入れ価格は大きく「上昇」超となっている。
- 設備は0.0、従業員数は「不足」超。臨時・パート数は「増加」超となっている。
- 県内需要は「上昇」超。県外需要、海外需要は共に「下降」超となっている。



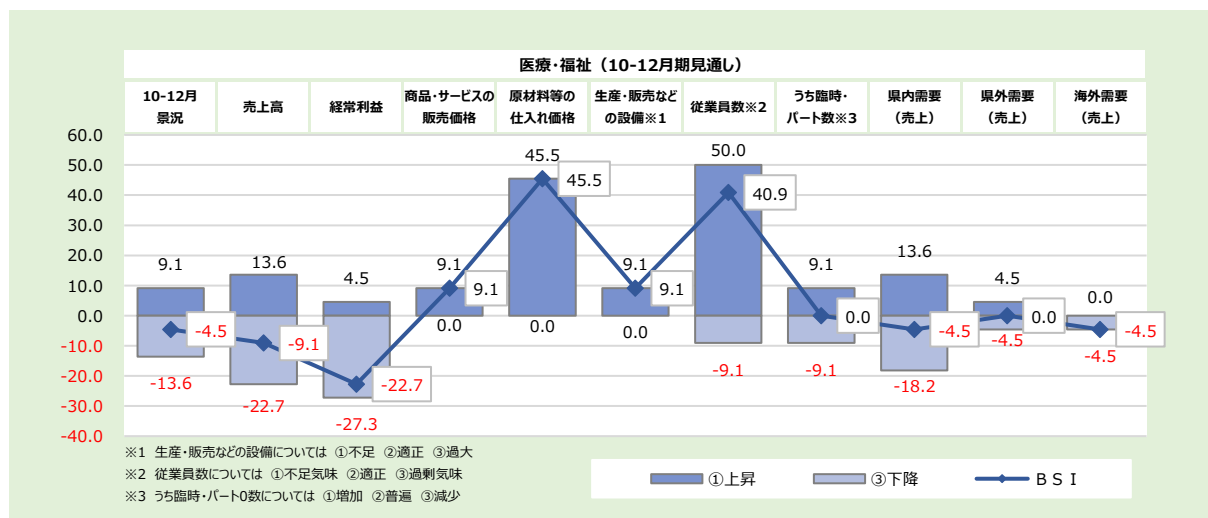
■ 7-9月期の現状(4-6月比較) 医療・福祉 実績

- 7-9月期の景況は-9.1で「下降」超。売上高、経常利益共に大きく「下降」超となっている。
- 販売価格は「下降」超、仕入れ価格は大きく「上昇」超となっている。
- 設備は「不足」超、従業員数は大きく「不足」超。臨時・パート数は「減少」超となっている。
- 県内需要、海外需要は共に「下降」超。県外需要は0.0となっている。



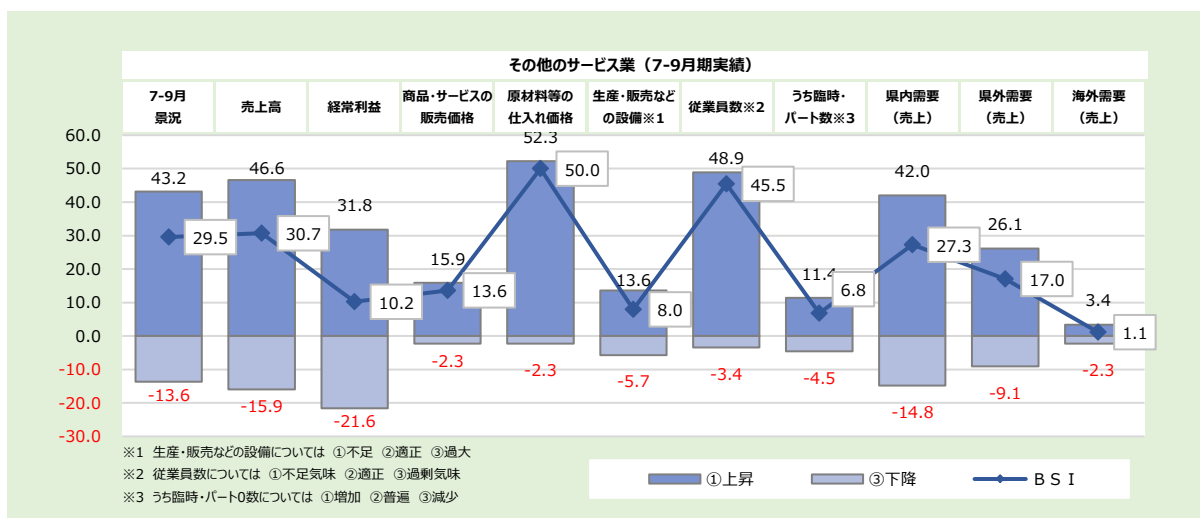
■ 10-12月期の見通し(7-9月比較) 医療・福祉 見通し

- 10-12月期の見通しは-4.5で「下降」超。売上高、経常利益共に「下降」超となっている。
- 販売価格は「上昇」超、仕入れ価格は大きく「上昇」超となっている。
- 設備は「不足」超。従業員数は大きく「不足」超。臨時・パート数は0.0となっている。
- 県内需要、海外需要は「下降」超。県外需要は0.0となっている。



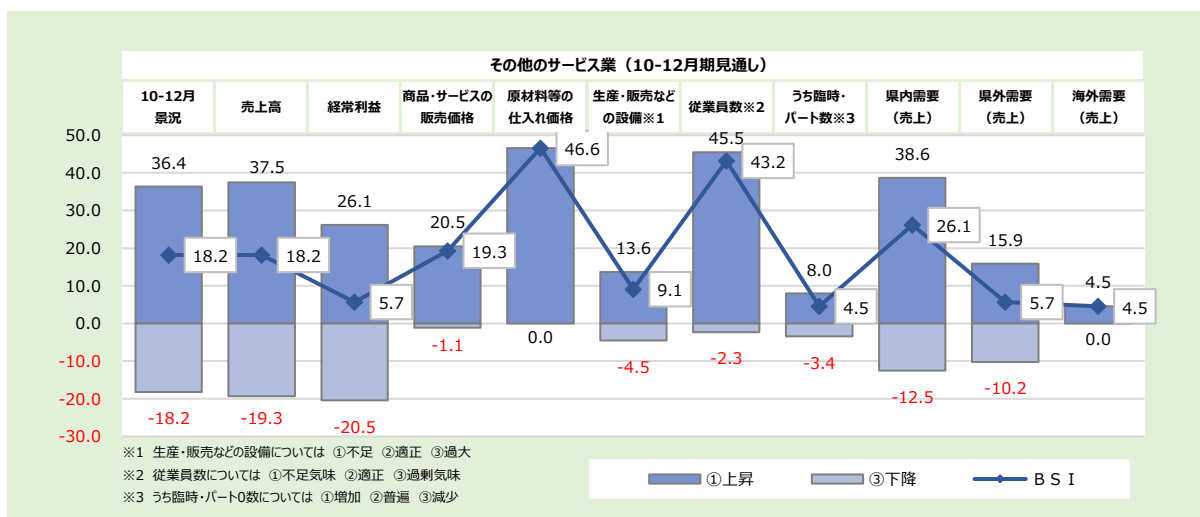
■ 7-9月期の現状(4-6月比較) **その他のサービス業** **実績**

- 7-9月期の景況は29.5で「上昇」超。売上高、経常利益共に「上昇」超となっている。
- 販売価格は「上昇」超、仕入れ価格は大きく「上昇」超となっている。
- 設備は「不足」超、従業員数は大きく「不足」超、パート数は「増加」超となっている。
- 県内需要、県外需要は「上昇」超。海外需要は若干の「上昇」超となっている。



■ 10-12月期の見通し(7-9月比較) **その他のサービス業** **見通し**

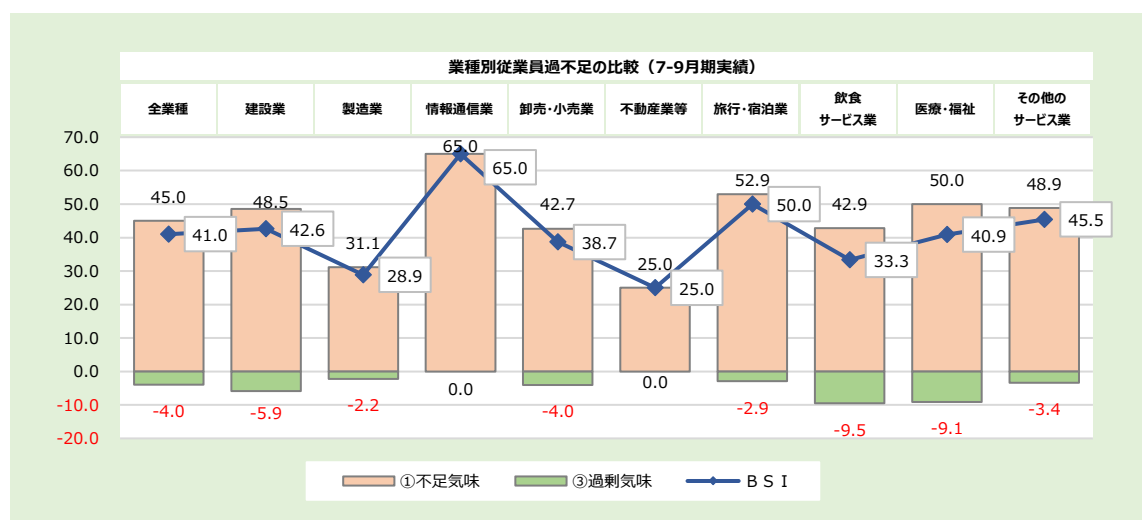
- 10-12月期の景況見通しは18.2で「上昇」超。売上高、経常利益は共に「上昇」超となっている。
- 販売価格は「上昇」超、仕入れ価格は大きく「上昇」超となっている。
- 設備は「不足」超、従業員数は大きく「不足」超、臨時・パート数は「増加」超となっている。
- 県内需要、県外需要、海外需要共に「上昇」超となっている。



【雇用関連集計】

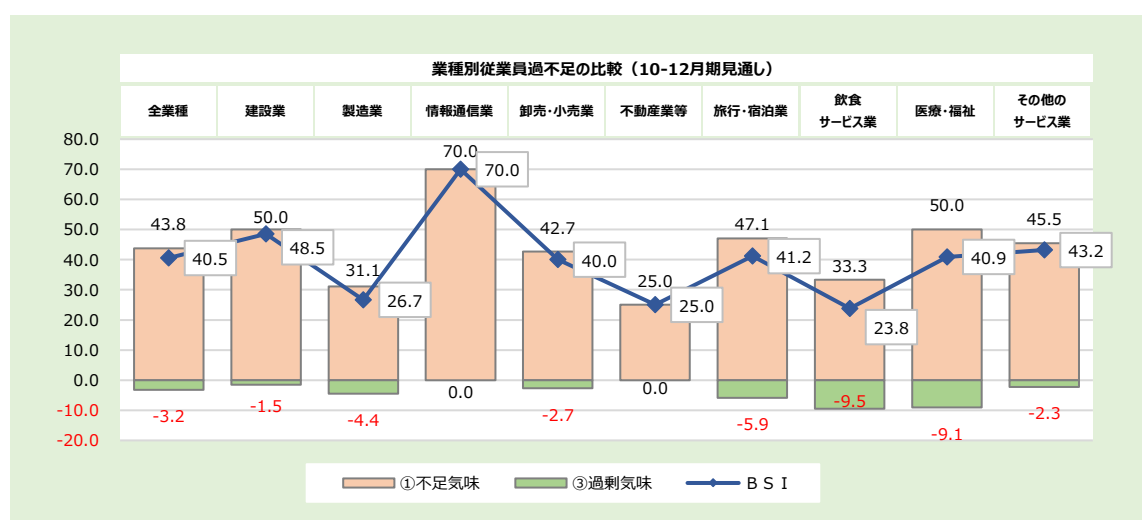
■ 7-9月期の従業員数(4-6月比較) 全体 従業員数実績

- 7-9月期の従業員 BSI は 41.0 で大きく「不足」超となっている。
- どの業種でも「不足」超で、特に情報通信業、旅行・宿泊業、その他のサービス業、建設業、医療・福祉などで大きく「不足」超となっている。



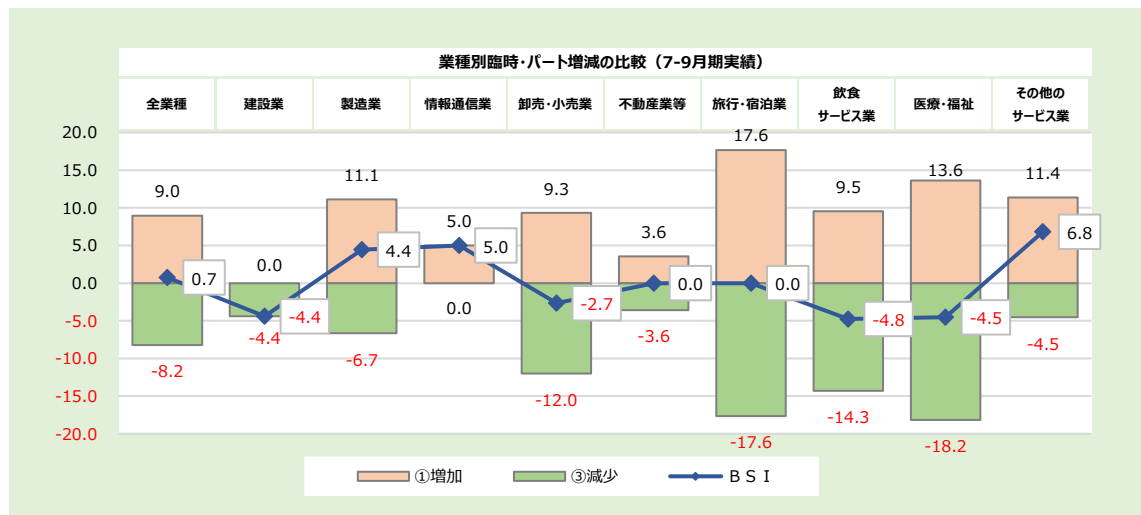
■ 10-12月期の従業員数見通し(7-9月比較) 全体 従業員数見通し

- 10-12月期の従業員の見通し BSI は 40.5 で大きく「不足」超となっている。
- 各業種とも「不足」超となっている中、特に情報通信業、建設業、その他のサービス業、旅行・宿泊業、医療・福祉などで大きく「不足」超となっている。



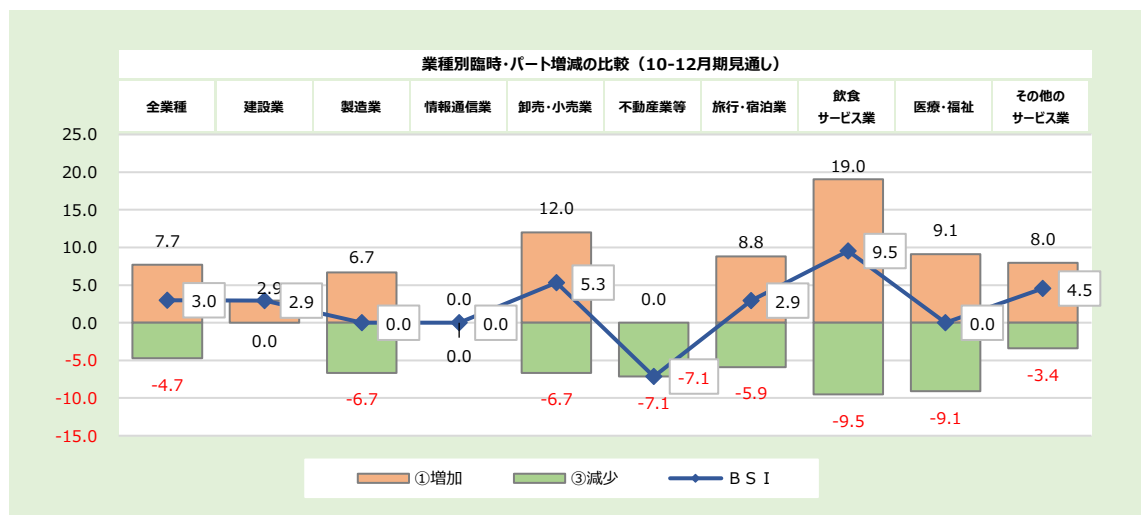
■ 7-9月期の臨時・パート数(4-6月比較) **全体** **臨時・パート実績**

- 7-9月期の臨時・パートのBSIは0.7で若干「増加」超となっている。
- その他のサービス業、情報通信業、製造業などで「増加」超となっている。
- 飲食サービス業、医療・福祉などで「減少」超となっている。



■ 10-12月期の臨時・パート数見通し(7-9月比較) **全体** **臨時・パート見通し**

- 10-12月期の臨時・パートの見通しBSIは3.0で「増加」超となっている。
- 飲食サービス業、卸売・小売業、その他のサービス業などで「増加」超となっている。
- 不動産業で「減少」超となっている。



主要業種別・項目別 BSI 一覧表

■全体BSI

時期	2021年		2022年				
	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期	7-9月期	10-12月期
	実績	実績	実績	実績	(見通し)	実績	(見通し)
景況BSI	-25.0	12.7	-23.1	9.9	24.0	21.6	8.5
売上高	-21.0	18.4	-21.0	9.1	30.9	24.1	11.7
経常利益	-27.8	5.2	-30.1	-5.4	17.0	7.0	-2.0
商品・サービスの販売価格	-2.0	8.5	8.8	21.5	30.9	24.9	20.9
原材料等の仕入れ価格	23.0	41.0	45.7	62.2	56.3	58.2	53.0
生産・販売などの設備	0.8	6.2	1.8	6.4	9.9	9.7	6.0
従業員数	11.8	28.6	23.6	34.3	38.0	41.0	40.5
うち臨時・パート	-2.3	-1.5	-3.9	-0.2	3.7	0.7	3.0
県内需要(売上)	-20.3	20.9	-18.7	7.4	24.2	20.6	14.7
県外需要(売上)	-12.0	10.9	-12.7	13.3	18.5	18.4	7.0
海外需要(売上)	-7.3	-2.7	-5.2	-0.2	3.0	0.5	1.7

■建設業BSI

時期	2021年		2022年				
	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期	7-9月期	10-12月期
	実績	実績	実績	実績	(見通し)	実績	(見通し)
景況BSI	-28.8	-9.6	13.1	-18.1	5.6	-1.5	2.9
売上高	-13.6	5.5	13.1	-18.1	18.1	-2.9	11.8
経常利益	-23.7	-8.2	-3.3	-22.2	1.4	-17.6	-4.4
商品・サービスの販売価格	-1.7	6.8	23.0	20.8	34.7	0.0	14.7
原材料等の仕入れ価格	37.3	46.6	57.4	79.2	72.2	66.2	55.9
生産・販売などの設備	5.1	11.0	13.1	6.9	5.6	11.8	10.3
従業員数	10.2	39.7	52.5	44.4	45.8	42.6	48.5
うち臨時・パート	-5.1	4.1	-1.6	-4.2	-2.8	-4.4	2.9
県内需要(売上)	-16.9	1.4	4.9	-19.4	6.9	0.0	7.4
県外需要(売上)	-6.8	-6.8	3.3	-4.2	-2.8	-1.5	2.9
海外需要(売上)	-1.7	-1.4	0.0	-1.4	0.0	0.0	0.0

■製造業BSI

時期	2021年		2022年				
	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期	7-9月期	10-12月期
	実績	実績	実績	実績	(見通し)	実績	(見通し)
景況BSI	-22.7	11.8	-36.6	5.3	2.6	20.0	6.7
売上高	-22.7	23.5	-31.7	5.3	23.7	20.0	20.0
経常利益	-34.1	14.7	-41.5	-13.2	7.9	2.2	-6.7
商品・サービスの販売価格	0.0	2.9	9.8	26.3	36.8	23.5	26.7
原材料等の仕入れ価格	36.4	55.9	63.4	97.4	76.3	66.7	75.6
生産・販売などの設備	-4.5	0.0	4.9	-5.3	0.0	11.1	11.1
従業員数	0.0	8.8	9.8	18.4	18.4	28.9	26.7
うち臨時・パート	2.3	0.0	-4.9	-2.6	7.9	4.4	0.0
県内需要(売上)	-22.7	11.8	-39.0	-5.3	15.8	22.2	11.1
県外需要(売上)	-6.8	35.3	-19.5	0.0	26.3	22.2	8.9
海外需要(売上)	2.3	2.9	-7.3	-7.9	2.6	6.7	6.7

■情報通信業BSI

時期	2021年		2022年				
	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期	7-9月期	10-12月期
	実績	実績	実績	実績	(見通し)	実績	(見通し)
景況BSI	-15.8	4.8	0.0	0.0	23.8	-5.0	20.0
売上高	-10.5	9.5	0.0	4.8	42.9	0.0	20.0
経常利益	-15.8	-9.5	5.6	-4.8	28.6	-15.0	25.0
商品・サービスの販売価格	-5.3	4.8	5.6	4.8	19.0	28.9	15.0
原材料等の仕入れ価格	0.0	4.8	11.1	4.8	9.5	15.0	20.0
生産・販売などの設備	0.0	14.3	5.6	14.3	19.0	10.0	0.0
従業員数	21.1	28.6	38.9	61.9	66.7	65.0	70.0
うち臨時・パート	5.3	4.8	0.0	9.5	14.3	5.0	0.0
県内需要(売上)	5.3	9.5	-11.1	-4.8	33.3	10.0	25.0
県外需要(売上)	10.5	14.3	16.7	14.3	33.3	0.0	15.0
海外需要(売上)	0.0	0.0	0.0	4.8	4.8	0.0	-5.0

■卸売・小売業BSI

時期	2021年		2022年				
	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期	7-9月期	10-12月期
	実績	実績	実績	実績	(見通し)	実績	(見通し)
景況BSI	-37.0	11.7	-22.4	4.0	40.0	28.0	12.0
売上高	-34.6	10.4	-20.9	9.3	36.0	38.7	18.7
経常利益	-32.1	3.9	-38.8	-8.0	24.0	25.3	6.7
商品・サービスの販売価格	9.9	27.3	31.3	50.7	52.0	5.0	48.0
原材料等の仕入れ価格	34.6	50.6	65.7	72.0	68.0	69.3	62.7
生産・販売などの設備	4.9	9.1	4.5	6.7	9.3	6.7	2.7
従業員数	16.0	22.1	25.4	32.0	34.7	38.7	40.0
うち臨時・パート	-2.5	1.3	-7.5	1.3	1.3	-2.7	5.3
県内需要(売上)	-35.8	20.8	-11.9	1.3	28.0	29.3	21.3
県外需要(売上)	-8.6	11.7	-14.9	20.0	18.7	20.0	13.3
海外需要(売上)	-4.9	-1.3	-6.0	1.3	4.0	0.0	2.7

■不動産業等BSI

時期	2021年		2022年				
	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期	7-9月期	10-12月期
	実績	実績	実績	実績	(見通し)	実績	(見通し)
景況BSI	-6.7	-15.6	6.1	17.1	25.7	14.3	3.6
売上高	3.3	-9.4	-6.1	8.6	31.4	25.0	10.7
経常利益	-6.7	-31.3	-6.1	-2.9	22.9	10.7	-3.6
商品・サービスの販売価格	-3.3	0.0	9.1	14.3	17.1	46.7	-3.6
原材料等の仕入れ価格	16.7	12.5	15.2	25.7	37.1	28.6	25.0
生産・販売などの設備	-3.3	0.0	0.0	5.7	8.6	3.6	3.6
従業員数	16.7	6.3	12.1	20.0	25.7	25.0	25.0
うち臨時・パート	-6.7	0.0	3.0	5.7	2.9	0.0	-7.1
県内需要(売上)	-3.3	-6.3	-6.1	8.6	28.6	17.9	10.7
県外需要(売上)	-3.3	12.5	3.0	14.3	22.9	17.9	10.7
海外需要(売上)	-3.3	0.0	0.0	0.0	2.9	0.0	0.0

■旅行・宿泊業BSI

時期	2021年		2022年				
	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期	7-9月期	10-12月期
	実績	実績	実績	実績	(見通し)	実績	(見通し)
景況BSI	-25.0	44.1	-41.7	58.1	54.8	73.5	8.8
売上高	-27.5	41.2	-41.7	58.1	54.8	82.4	-2.9
経常利益	-42.5	35.3	-41.7	41.9	45.2	58.8	-8.8
商品・サービスの販売価格	-20.0	0.0	-22.9	9.7	38.7	14.3	0.0
原材料等の仕入れ価格	7.5	32.4	37.5	67.7	58.1	76.5	52.9
生産・販売などの設備	-5.0	5.9	-12.5	19.4	32.3	11.8	-2.9
従業員数	-15.0	32.4	12.5	41.9	54.8	50.0	41.2
うち臨時・パート	-12.5	-17.6	-10.4	-6.5	9.7	0.0	2.9
県内需要(売上)	-27.5	70.6	-33.3	51.6	32.3	64.7	8.8
県外需要(売上)	-37.5	23.5	-41.7	51.6	48.4	64.7	8.8
海外需要(売上)	-20.0	-5.9	-12.5	-9.7	-6.5	2.9	2.9

■飲食サービス業BSI

時期	2021年		2022年				
	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期	7-9月期	10-12月期
	実績	実績	実績	実績	(見通し)	実績	(見通し)
景況BSI	-41.2	57.9	-71.4	40.0	33.3	33.3	-14.3
売上高	-52.9	47.4	-57.1	46.7	33.3	28.6	-19.0
経常利益	-64.7	15.8	-71.4	0.0	20.0	0.0	-33.3
商品・サービスの販売価格	-11.8	-5.3	-7.1	40.0	60.0	41.2	23.8
原材料等の仕入れ価格	5.9	84.2	42.9	93.3	86.7	71.4	61.9
生産・販売などの設備	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7	19.0	0.0
従業員数	-17.6	47.4	14.3	33.3	33.3	33.3	23.8
うち臨時・パート	-5.9	-26.3	-42.9	6.7	13.3	-4.8	9.5
県内需要(売上)	-52.9	47.4	-57.1	60.0	60.0	19.0	4.8
県外需要(売上)	-47.1	21.1	-42.9	53.3	53.3	42.9	-4.8
海外需要(売上)	-52.9	-31.6	-35.7	20.0	33.3	-9.5	-4.8

■医療・福祉BSI

時期	2021年		2022年				
	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期	7-9月期	10-12月期
	実績	実績	実績	実績	(見通し)	実績	(見通し)
景況BSI	-4.8	-4.3	-43.8	-14.3	14.3	-9.1	-4.5
売上高	4.8	8.7	-43.8	-19.0	9.5	-27.3	-9.1
経常利益	-14.3	0.0	-50.0	-23.8	-4.8	-36.4	-22.7
商品・サービスの販売価格	0.0	4.3	0.0	-4.8	9.5	28.6	9.1
原材料等の仕入れ価格	9.5	26.1	37.5	38.1	47.6	45.5	45.5
生産・販売などの設備	4.8	0.0	0.0	-4.8	0.0	13.6	9.1
従業員数	33.3	43.5	25.0	61.9	47.6	40.9	40.9
うち臨時・パート	-14.3	17.4	18.8	4.8	-9.5	-4.5	0.0
県内需要(売上)	-4.8	0.0	-37.5	-4.8	9.5	-22.7	-4.5
県外需要(売上)	-4.8	-8.7	-6.3	0.0	4.8	0.0	0.0
海外需要(売上)	-4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	-4.5	-4.5

■その他のサービス業BSI

時期	2021年		2022年				
	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期	7-9月期	10-12月期
	実績	実績	実績	実績	(見通し)	実績	(見通し)
景況BSI	-18.8	26.1	-36.0	20.0	22.1	29.5	18.2
売上高	-15.6	33.0	-27.9	15.8	31.6	30.7	18.2
経常利益	-15.6	17.0	-36.0	-2.1	15.8	10.2	5.7
商品・サービスの販売価格	0.0	6.8	3.5	10.5	14.7	-4.5	19.3
原材料等の仕入れ価格	14.1	38.6	38.4	52.6	40.0	50.0	46.6
生産・販売などの設備	-1.6	5.7	-1.2	8.4	10.5	8.0	9.1
従業員数	23.4	30.7	16.3	26.3	33.7	45.5	43.2
うち臨時・パート	7.8	-4.5	-1.2	-2.1	6.3	6.8	4.5
県内需要(売上)	-6.3	33.0	-18.6	18.9	27.4	27.3	26.1
県外需要(売上)	-9.4	12.5	-10.5	9.5	13.7	17.0	5.7
海外需要(売上)	-6.3	-2.3	-2.3	1.1	3.2	1.1	4.5

—— 本資料のご利用に際して ——

- ・ 本資料は弊社の著作物であり、著作権法により保護されております。著作権法の定めに従い、引用する際には、必ず出所・株式会社海邦総研と明記してください。
- ・ 本資料は、弊社 HP (<http://www.kaiho-ri.jp/>) においても公表しております。
- ・ 本調査に関する問い合わせは、弊社・地域経済調査部・瀬川、当銘までご連絡ください。

TEL:098-869-8724 E-mail:sonshu_segawa@kaiho-ri.jp